

平成22年度一般会計当初予算説明資料

3 款 民生費

1 項 社会福祉費

障害福祉課（内線：7867）→事業実施：障がい福祉課

1 2 目 障がい者自立支援事業費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「あいサポート運動」事業	10,316	3,023	7,293	310			10,006	
トータルコスト	19,191千円（前年度7,994千円）〔正職員：1.1人〕							
主な業務内容	「あいサポート運動」の普及啓発							
工程表の政策目標（指標）	—							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

多様な障がいの特性や障がいのある方が困っていること並びに障がいのある方への必要な配慮などを理解し、障がいのある方にちょっとした手助けを行う方に「あいサポーター」になっていただき、障がいの有無に関わらず、誰もがお互いの人格と個性を尊重し、支えあう共生社会を実現するため、必要な啓発活動を実施する。

2 主な事業内容

事業内容	事業費	財源	備考
(1) キャラバン隊による啓発と「あいサポート企業(団体)」の認定 商店街、コンビニ、交通機関等へのキャラバン隊による啓発を実施。企業を訪問し、「あいサポート運動」に協力する企業、団体を募集し、「あいサポート企業(団体)」として認定。	246	単県	
(2) 障がい特性、サポートの内容を記録したDVDの作成 身体障がい（視覚、聴覚、肢体不自由、内部）、重症心身障がい、知的障がい、発達障がい、精神障がい、てんかん、高次脳機能障がいの10の障がい分野について、障がいの特性や、サポートの内容をわかりやすく記録したDVDを作成し、研修会、イベント等で上映し、あいサポーター育成に役立てる。	3,564	単県	委託
(3) 障害者週間（12月3日～9日）における取組 障害者週間に係る啓発活動の一環として、「あいサポート運動」創設1周年記念イベントの開催、駅等におけるキャラバン隊によるチラシの配布、障害者週間ポスター・心の輪を広げる体験作文（あいサポート作文）の募集、精神障がいに関する正しい知識の普及等を行う。	2,711	国庫 単県	
(4) 「あいサポーター研修」の実施と研修会講師の養成 「あいサポーター」としての知識を身につける研修を開催する。また、「あいサポーター」の増加を図るため、あいサポーター研修の講師として派遣することが出来る講師を養成する。	391	単県	
(5) 県民啓発資料の作成等 障がい特性、障がいごとのサポートの内容をわかりやすく解説したミニパンフレット等を作成するとともに、障がい者を支援するために必要な制度や、事業等を掲載した冊子等を購入し、県民啓発に役立てる。	3,404	単県	
計	10,316		

3 これまでの取組状況、改善点

- (1) 障がい者を取り巻く社会環境は、障がい者の日常生活や社会参加、働く場の確保、情報収集などにおいてさまざまな障壁があり、障がい者が不自由や不利益を被る状況はなくなっていない。
- (2) 障がいの有無に関わらず、誰もがお互いの人格と個性を尊重し、支えあう共生社会を実現するためには、障がいを理由とする差別が発生しないよう、県民が障がい及び障がいがある人に対する理解を深めるための継続的な取り組みを進めていくことが重要である。
- (3) このため、多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていることや、障がいのある方への必要な配慮を理解して、障がいのある方にちょっとした手助けを行う方に「あいサポーター」になっていただく制度を平成21年11月28日に創設した。